

・ミクラステリアス ハーディ ・ミクラステリアス マハブレッシュワレンシス

琵琶湖の美しい2種類の植物プランクトンを紹介します。

○学名. *Micrasterias hardyi* G.S.West

- ・和名. ミクラステリアス ハーディ
- ・分類. 緑藻類、ホシミドロ目、ツツミモ科、ミクラステリアス属
- ・特徴. 本種は緑藻の大形ツツミモ科に属し、通常はミクラステリアスと呼ばれています。

2つの半細胞で構成され、中央部に深い切れ込みがあります。この半細胞の側裂部は6本に見えますが大きく分けると3本の腕状突起からなっています。また、琵琶湖でも良く見られるミクラステリアス マハブレッシュワレンシスに比較するとやや腕状突起が細くて長いのが特徴です。さらに、立体的なユウアスツルム属にも形が良く似ていますが、ミクラステリアス属は多数のピレノイドがあり、細胞が平面的でワッペンや勲章などに良く似た形をしており、群体を形成しないのもこの種類の特徴です。

・生息地. オーストラリアやニュージーランド、ニューサウスウェールズ州、タスマニア州などから報告されていますが、日本各地の湖沼や琵琶湖からはまだ報告例がない珍しい種類です。琵琶湖では数年前から時々南湖で観察されるようになり、現在では南湖や北湖東岸、北湖西岸さらに、瀬田川流心部でも観察されるようになりました。この種類は夏季から秋季に時々観察されますが水温の低くなる冬季や春季には観察されなくなります。

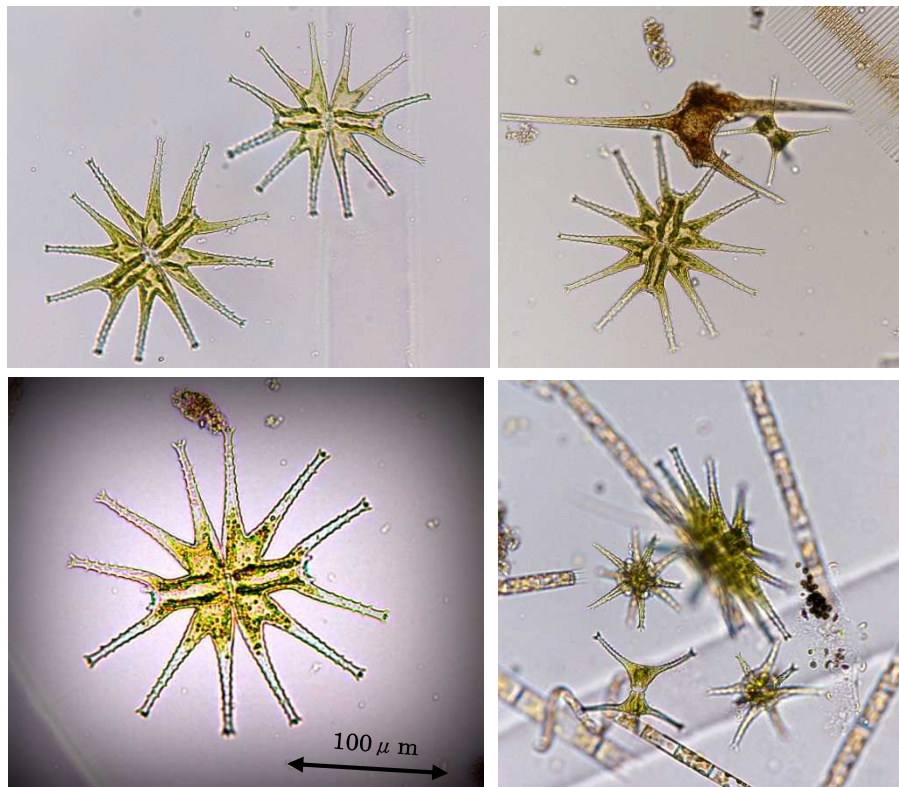


図 1. *Micrasterias hardyi* G.S.West

○学名. *Micrasterias mahabuleshwarensis* J.Hobson

・和名. ミクラステリアス マハブレッシュワレンシス

・分類. 緑藻類、ホシミドロ目、ツツミモ科、ミクラステリアス属

・特徴. 本種は緑藻の大形ツツミモ類に属し、通常はミクラステリアスと呼ばれています。

大きく分けると2つの半細胞で構成され、中央部に深い切れ込みがあり、その半細胞には3本のギザギザをした腕状突起に分かれているのが特徴です。立体的なユウアスツルム属に比べ扁平な形をしています。ミクラステリアスは大型で形が美しいことで有名ですが、細胞は単独で、群体を形成しないのも特徴の一つです。

・生息地. 日本の東北や近畿各地、タイ、インド、ビルマ、セイロン、ジャワ、オーストラリア、東アフリカ、欧州、北米など多くの国から報告がされています。

主に淡水湖沼や湿原、ため池等で観察されています。



図 2. *Micrasterias mahabuleshwarensis* J.Hobson